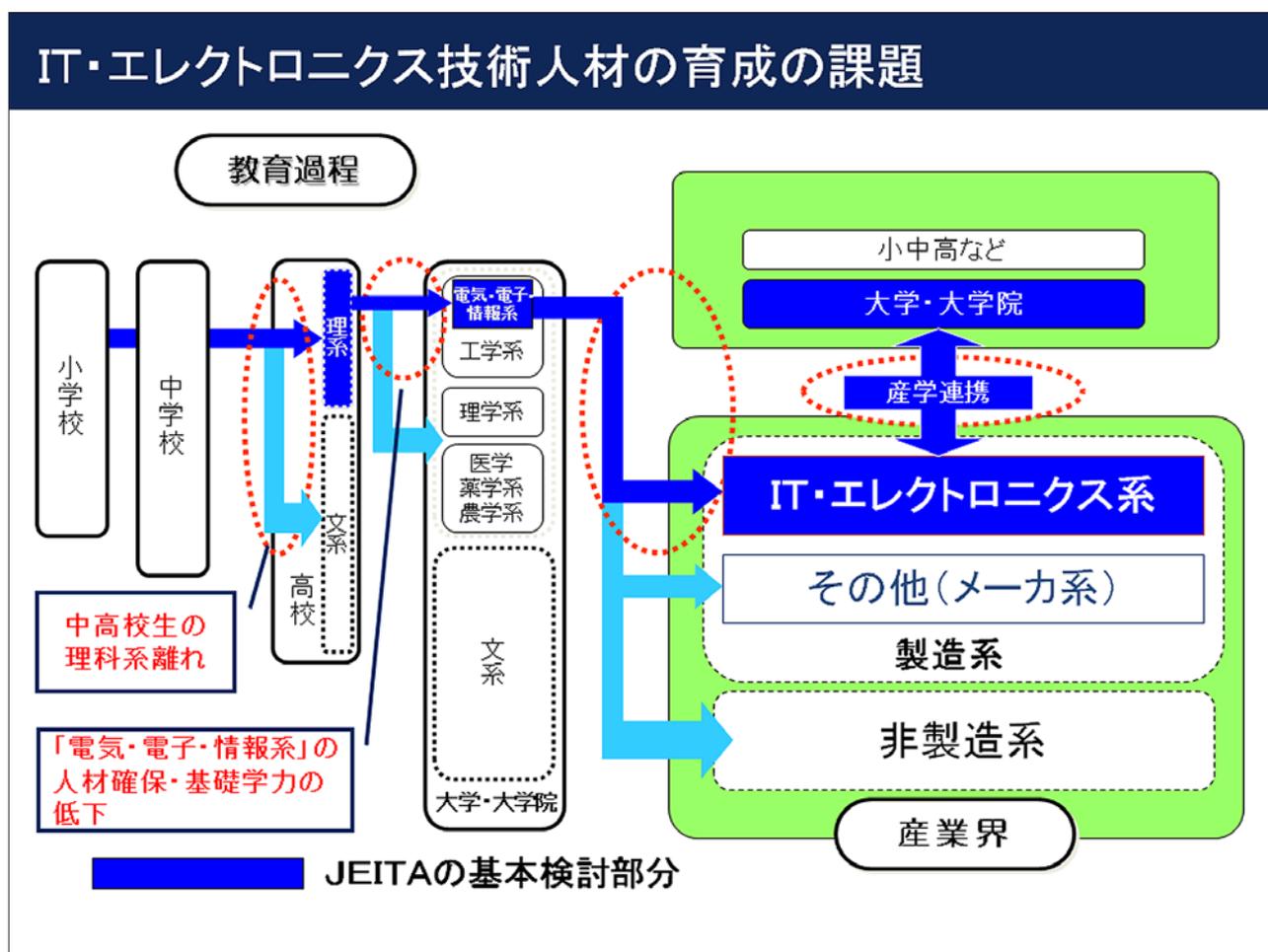


「理科離れ」という言葉が世の中でいつ頃から使われ出したのかは不明ですが、昨今、中学生・高校生の理科に対する関心度の低下、高等教育（大学・大学院）における基礎学力の低下が指摘されており、製造業における人材の確保・育成が難しくなっています。

このような中、JEITA としては IT・エレクトロニクス分野の技術系人材の育成を最重要課題と位置づけ、教育過程の中でさまざまな取り組みを行っています。



JEITA では、ディスプレイデバイス部会、情報・産業社会システム部会、電子部品部会、半導体部会などで、多岐にわたり人材育成に係る活動を行っています。ここでは総合政策部会傘下の「IT・エレクトロニクス人材育成検討会（以下、検討会）」で行っている人材育成事業について紹介します。

平成19年度に、人材育成に係る産学双方

の横断的課題や業種・分野的課題等について共通認識を醸成し、その後の産学双方の具体的行動につなげるため、「産学人材育成パートナーシップ」（文部科学省と経済産業省が共同事務局）が設立されました。その分科会の一つである電気・電子分科会として、当初は検討会の活動が行われました。その後、パートナーシップは平成23年度で

終了しましたが、平成24年度以降、JEITA 会員企業を中心に活動を行っています。

検討会には、下部組織として3つのWG（初等中等教育WG、モデルカリキュラム運営WG、高等教育WG）があり、各々の活動を紹介します。

#### ●初等中等教育WG

中学・高校生を対象に、企業で製品の研究開発・製造の第一線で活躍している研究者・技術者による「IT・エレクトロニクス講座」（セミナー）を開催しております。平成18年度からスタートし、今年で7年目を迎えますが、延べ8000名の生徒が講座を受講しており、学校からの応募も年々増加傾向にあります。

（最近開催した講演テーマ）

- 未来のコンピュータ
- エレクトロニクス産業と技術者の仕事
- 理科系の仕事って何だろう？
- 数学が世界を作る
- 光の性質と応用 等

参加した生徒には、都度、アンケートを実施しており、おおむね半数以上から「IT・エレクトロニクスや理工系の仕事に対する興味・関心が持てた」という回答を得ています。

#### ●モデルカリキュラム運営WG

産学による効果的な教育プログラム開発・実証を通じ、IT・エレクトロニクス産業の人材育成体系の基盤を構築し、持続・面的な展開を目指すことを目的として、平成21年度から、大学と連携して実践的教育プログラム（モデルカリキュラム）を実施しています。

（これまで実施した大学）

- 慶應義塾大学、横浜国立大学
- 東京工業大学、電気通信大学

#### ●高等教育WG

大学生・大学院生等を対象に CEATEC JAPAN の学生向けイベント及び産学連携シンポジウムを開催しています。

本年10月6日（土）には、CEATEC JAPAN 2012 の学生向けイベントとして「IT・エレクトロニクス業界研究セミナー」を開催しました。「情報家電分野」「情報通信分野」「計測・制御分野」「電子部品・電子デバイス分野」の4分野から、各々企業の最前線で活躍する方を講師に招き、自身の体験を踏まえ、企業が目指す夢、業界で働くことの魅力を伝えていただきました。学生にとっては、企業の話が聞ける絶好の機会となっています。

また、11月22日（木）には「第4回産学連携シンポジウム」の開催を予定しています。我々業界から、IT・エレクトロニクス産業の魅力・重要性、産業界の求める人材像を論じるとともに、大学側からも学生にメッセージを発信します。講演の他に、パネルディスカッション、懇親会を開催し、企業・大学・学生間の交流の場となっています。

### 第4回産学連携シンポジウム

「IT・エレクトロニクス技術の将来と期待する人材像」（概要）

期日：平成24年11月22日（木）

場所：早稲田大学

グリーン・コンピューティング・システム研究開発センター

内容：企業（ソニー、日立製作所、東芝）及び大学（早稲田大学）による講演  
パネルディスカッション

懇親会